

写真で振り返る  
**6・7月の出来事**

**6/17(水)**.....  
**双葉フラワーストリート花植え**



今年で21年目を迎える、双葉フラワーストリート。植栽柵が続く2キロ近い沿道は、朝早くから地域住民の方々によって準備が整えられています。柔らかく起こされた土に、格子状の小さな穴があげられていました。参加した人たちは、その穴に手際よく花の苗を植えていきます。今年も、地域の方々や双葉学園、愛和の里と一緒に、喜茂別中学校の全校生徒と、喜茂別高校から最後の参加となる山本真代さんの姿も見られました。

**7/5(日)**.....  
**教育長杯パークゴルフ大会**

夏日の強い日差しの中、町民公園パークゴルフ場で、教育長杯パークゴルフ大会が開催されました。平成3年から続いているこの大会は、当初パークゴルフの普及と健康づくりが目的でしたが、今日では、プレイを楽しむことや技の向上が目的となっているようです。今年は昨年より参加者が多く、40名のエントリーです。競技の結果、男性1位菅原良克さん(97)、2位大宮忠さん(101)、3位森玄一さん(103)、女性1位熊木富子さん(101)、2位栄花タケ子(102)、3位押切ふみ子さん(103)でした。



**6/15(月) 喜中陸上競技大**.....

予定していた6月14日(日)が雨天となったことから、翌日に開催された喜茂別中学校の陸上競技大会。この日も時折小雨が降って、午後の開始時間が30分以上遅れるハプニングもありました。競技種目は、徒競走、砲丸投げ、走り幅跳び、走り高跳びが中心ですが、最後に行われたリレー競技では、走り終わった選手の表情にそれぞれの充実感がみられました。タイムの測定などにPTAが取り組むのも、恒例の光景です。



**6/20(土) 尻別川クリーン作戦**.....



この日、尻別川流域では、下流域の蘭越町と上流域の喜茂別町の2箇所、同時に尻別川クリーン作戦が行われました。5回目となる当町では、主催者を代表して教育委員会の麻生隆教育長からあいさつがなされ、早速3つのグループに分かれて、大町から留産方面に向かい、河川敷と国道276号沿道のゴミ拾いが始まりました。河畔では、水質測定キットによる結果が紹介されましたが、COD、アンモニア、リンともに良好でした。「今年はゴミが少ないね」そんな会話も、あちこちで聞かれました。

**7/4(土) 喜茂別保育所運動会**.....

第51回の喜茂別保育所運動会が開催されました。前日には、喜茂別高等学校3年生の山本真代さんや先生たちがボランティアでリハーサルに参加したり、愛和の里の皆さんが広場の整地をしてくれたり、地域みんなの応援で行われている、町を挙げての大運動会です。園児のみなさんが一所懸命走ったり、保護者と一緒のゲーム、祖父母や卒園児の種目もあって、植木典子先生の名アナウンスに乗って、今年も会場のちびっ子広場は終日大賑わいでした。



**7/11(土)~12(日) 選抜少年野球大会**.....

第17回喜茂別町長旗、第9回喜茂別ライオンズクラブカップを争う選抜少年野球大会が、町営球場で開催され、後志管内と札幌から8チームが参加し、2日間にわたって熱戦が繰り広げられました。

初日第2試合で留寿都野球スポーツ少年団と対戦した喜茂別野球スポーツ少年団ファイターズは、後半で大量点を挙げて逆転し、9対6で勝ちました。翌日の準決勝では、対戦した真狩野球スポーツ少年団に12対1でコールド負けを喫しましたが、大勢の応援団からあたたかい拍手が贈られました。



**6/6(土) 鈴川小学校大運動会**.....



運動会シーズンの幕開けは、開校101年目を迎えた鈴川小学校の大運動会です。「限界のさらに上を目指せ!」をスローガンに、全校児童12名が全ての競技で自分を超越する記録に挑みます。和太鼓では、1年生の松本涼君が始めてみんなと一緒に2曲演奏しました。また、一輪車のパフォーマンスでは、各自がまだ成功していないプレイにも挑戦しました。鈴小の運動会は、日々挑戦を重ねる姿をお披露目し、地域のみながそれを激励する行事となっています。

**6/13(土) 喜茂別小学校開校110周年記念運動会**.....



全校児童71名が「120%の勇気!」を目指した開校110周年記念運動会が、喜茂別小学校で挙行されました。今にも雨が降りそうな風の冷たいグラウンドで、紅白の熱戦が続きます。昼食後のスクールバンドは、運動会の花形。その見事なパフォーマンスが、聴衆の視線を一身に浴びます。同点で迎えた最後の種目全校紅白リレーは、例年以上に応援が盛り上がりました。そしてその結果も、同点!優勝旗を紅白で一緒に握った二人の笑顔が、眩しく輝いていました。

**6/14(日) 国道駐車帯で花植え**.....



自然の木々も花々も、一斉に彩を豊かにする北海道の6月。私たちの町は、家の庭先も街並みも、そして郊外の道路も、自然に負けじと彩を増します。その陰には、町民の皆さんの様々な努力があります。商工会や建設協会、青年交流セミナー、観光ボランティアの会、愛和の里、WAOなどの参加によって、国道230号の尻別橋近くの駐車帯、国道276号相川のビューポイント駐車帯などで、花植えが行われました。今年も、多年草のオダマキも加わりました。

**6/8(月)**.....  
**老人クラブ福寿会が花植え**



老人クラブ福寿会が、ふれあい福祉センターや厚生クリニックの周り、ちびっ子広場などの花壇に花植えを行いました。みなさんそれぞれの体力に応じて役割を分担しながら、手際よく花の苗を植え込んでいきます。健康で元気な皆さんが植えた花の彩りは、福祉や医療で訪れる方々の心を優しく包み込むことでしょう。作業が終わった後は、近くの広場でバーベキューを楽しみました。

**6/12(金)**.....  
**後志管内商工会女性部研修会**



後志管内の商工会女性部が一堂に会して行う研修会が、今年も喜茂別町の農村環境改善センターで催されました。牧場タカラの斉藤久さんの講演を聞いた後、家族が支えあう牧場タカラの新しい酪農の取り組みを紹介した、NHKのテレビ番組をビデオで学びました。研修の後は、それぞれの女性部が工夫を凝らしたアトラクションに笑いがはじけ、笑顔と歓談が会場を満たした会食懇親会となりました。